

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公表番号】特表2007-523461(P2007-523461A)

【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2007-031

【出願番号】特願2006-554223(P2006-554223)

【国際特許分類】

F 21S 2/00 (2006.01)

F 21V 7/00 (2006.01)

F 21V 29/00 (2006.01)

F 21Y 101/00 (2006.01)

【F I】

F 21M 1/00 K

F 21M 7/00 K

F 21Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月18日(2008.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部領域を囲む周辺部を形成する側壁と、

前記内部領域内に配置された3つ又はそれ以上の交差湾曲反射面と、を含み、

各湾曲反射面が、前記周辺部上に配置された焦点を有しあつその焦点から放射した光を前記側壁によって形成された反射器開口の外に反射するように配向された軸外し反射器セグメントを形成し、

前記3つ又はそれ以上の前記交差湾曲反射面が、少なくとも3つの交差線を有する、ことを特徴とする反射器。

【請求項2】

前記3つ又はそれ以上の交差湾曲反射面が、3つの交差線を有する3つの交差湾曲反射面を含むことを特徴とする、請求項1に記載の反射器。

【請求項3】

前記3つ又はそれ以上の交差湾曲反射面が、ほぼ円形の周辺部の中心に対して3回回転対称(three-fold rotational symmetry)として配置された3つの交差湾曲反射面を含むことを特徴とする、請求項1に記載の反射器。

【請求項4】

各湾曲反射面が、前記周辺部の一部分に沿って配置されることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の反射器。

【請求項5】

前記軸外し反射器セグメントを形成する各湾曲反射面は、その焦点が、前記周辺部に沿って配置されている該湾曲反射面の部分以外の部分に配置されていることを特徴とする、請求項4に記載の反射器。

【請求項6】

前記軸外し反射器セグメントを形成する各湾曲反射面は、その焦点が、前記周辺部に沿

って配置されている該湾曲反射面の部分とは反対側の該周辺部に配置されていることを特徴とする、請求項4に記載の反射器。

【請求項7】

内部領域を囲む周辺部を形成する側壁と、

前記内部領域内に配置された複数の交差湾曲反射面と、を含み、

各湾曲反射面が、前記周辺部の一部分に沿って配置され、前記周辺部上に配置された焦点を有しあつその焦点から放射した光を前記側壁によって形成された反射器開口の外に反射するように配向された軸外し反射器セグメントを形成し、

前記複数の交差湾曲反射面の各々について、前記反射器セグメントの焦点と該反射器セグメントを形成する湾曲反射面が配置された前記周辺部の一部分とを接続する線が、少なくとも1つの他の反射器セグメント上を通過するように配置される、
ことを特徴とする反射器。

【請求項8】

請求項1乃至7のいずれか1項に記載の反射器と、

前記反射器セグメントの焦点に配置された複数の発光ダイオードと、
を含むことを特徴とするランプ。